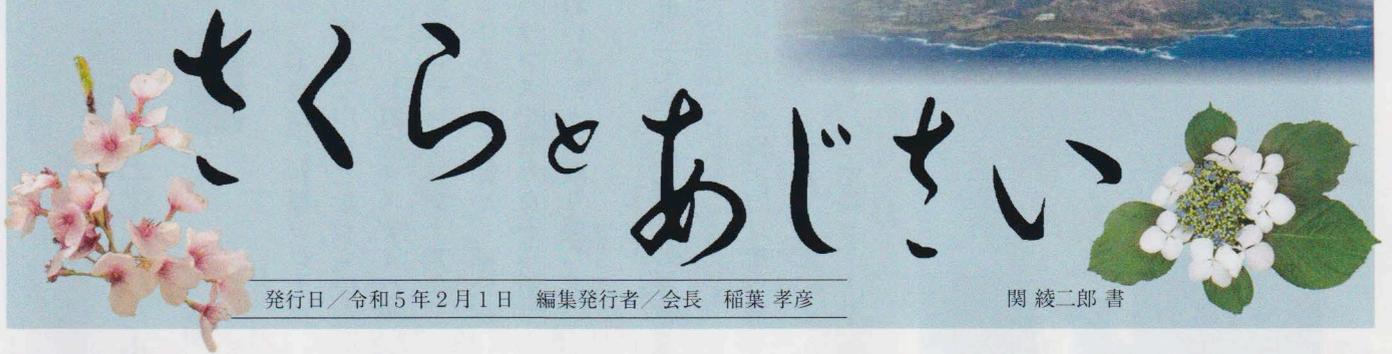


小金井三宅島友好協会会報 [第52号]



発行日/令和5年2月1日 編集発行者/会長 稲葉 孝彦

関 綾二郎 書

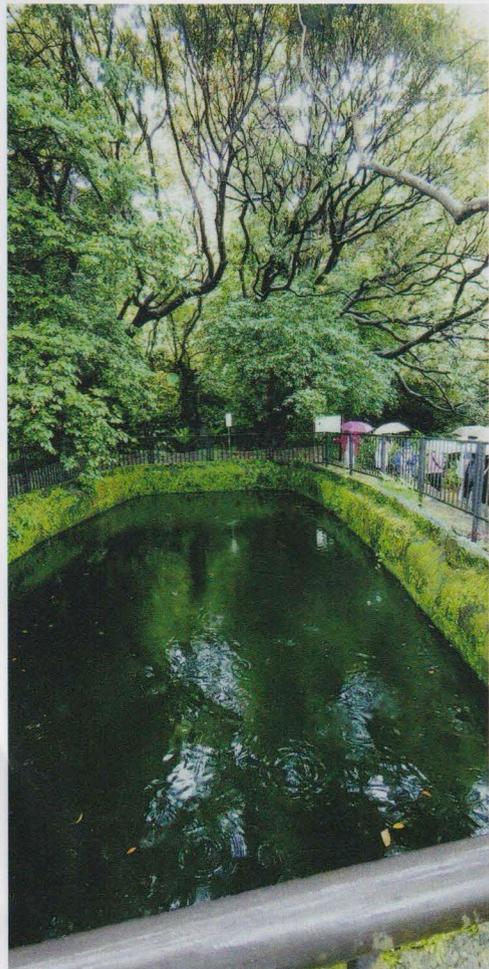
東京から南へ180 km、黒潮の海に野鳥が飛び、海亀やイルカが回遊する三宅島。周囲30 km、J R山手線の内側と同じ位の面積です。海路は竹芝栈橋で出入港とも素晴らしい東京の夜景が見られます。お急ぎは空路で調布飛行場から約40分、東京、神奈川の美しい街並や島を一望することができます。

小金井市とは幕末の侠客小金井小次郎が流刑で12年間過ごし、水不足に苦しむ島民のため井戸を作るなどの尽力により島民から慕われていました。それから縁で小金井のサクラと三宅島のアジサイの交換があり、一層の交流が深まり昭和53年10月1日市政施行20周年を記念し友好都市盟約が締結されました。以来約45年、小金井三宅島友好協会を中心に民間外交で友好の絆



魅力あふれる三宅島へ

小金井三宅島友好協会会長 稲葉 孝彦



小金井小次郎井戸

を深めてきました。

三宅島のシンボルであり、島の中心に鎮座する雄山は約20年周期で噴火を繰り返しています。特に平成12年の山頂噴火は火山ガスが発生するなど、4年半に渡り厳しい全島避難を強いられました。避難が解除され、島民は不屈の精神で復旧・復興を果たしています。

繰り返された雄山の噴火で作られた雄大な黒や赤錆色の溶岩跡の造型は美しさとともに自然の凄まじさを感じさせます。



溶岩に埋もれた旧阿古小中学校

是非、島を訪れ、人情に接して頂くようお願いいたします。



伊豆岬燈台



メガネ岩から望む三本岳

現在の三宅島は、新型コロナウイルスの影響で中止となっていたマリンスコーレ21フェスティバルや三宅島エンデューロレースなどのイベントも再開し始め、感染症対策とバランスを取りながら活気やにぎわいを徐々に取り戻しています。

小金井三宅島友好協会会員さま、並びに参加された皆さまにも、今年基本的な感染予防対策や来島のガイドラインの遵守などにご協力をいただき、三宅島ツアーを

楽しんでいただきました。今後も、ご来島いただく皆さまが安心安全に三宅島を楽しんでいただけるよう、私たち村民も感染予防対策に取り組み、お待ちしております。

市民の皆さまもご存知のとおり小金井市と三宅島の友好の絆は40年を超え、両市村にとってかけがえのない財産となっています。9月には小金井宮地楽器ホールにおいて、「魅力ある三宅島写真パネル展」を開催していただき、三宅



### 三宅島から小金井市の皆さまへ

三宅島友好・交流協会会長 上松 幸男

島の自然や文化をご紹介いただきました。開催にあたりご尽力いただいた小金井三宅島友好協会の皆さまをはじめ、関係者の皆さまにあらためて心から感謝を申し上げます。

市民の皆さまにも、ぜひ三宅島にお越しいただき、写真でご覧になったような季節ごとに移り変わる美しく雄大な自然を体感していただきたいと思います。



令和4年度産業祭テープカット



Photo: 三宅島フォトコンテスト2022応募作品「相合傘」

調布空港からたったの50分。のんびり三宅島

(一社)三宅島観光協会 04994-5-1144



特集  
三宅島はこんな素敵なおとこ

### 三宅小学校の行事紹介

三宅村立三宅小学校 副校長 福田 かほり

三宅島は保育園から高等学校まで一校ずつあり、連携して一貫教育を進めています。そのため合同行事もたくさんあります。三宅島の特徴的な合同行事や三宅小学校独自の行事を紹介します。

#### 【全校遠足】

毎年四月に全校児童が火口湖である大<sup>たいろ</sup>路池に遠足に行きます。た<sup>た</sup>てわり班活動を生かして六年生の班長を中心にグループで巨樹の「迷子<sup>まいご</sup>椎<sup>しい</sup>」を目指します。



全校遠足の集合写真



海浜教室でのシュノーケリング

#### 【海浜教室】

毎年六月末から七月初めに行います。低学年は大久保浜を散策して貝殻やシーグラスを集めます。中学年は伊豆岬付近の海で、高学年は長太郎池（池という名前ですが海です）でシュノーケリングをして、海の生き物や生態について学習します。

#### 【小中合同運動会】

十月初めには、小中合同運動会が三宅小学校校庭で開催されます。練習や会場準備、片付けは全



小中合同運動会

校生徒と一緒にいきます。

当日は、お互い応援し合い、あじさい音頭や大玉送りは、小中児童生徒全員で盛り上がりました。勝敗に関わらず、和気あいあいとした雰囲気が素敵な行事です。

#### 【合同音楽会】

隔年で十一月初めに中学校を会場として保小中高合同音楽会が行われます。保育園から順番に合唱と合奏を披露していきます。お互いの学習の成果を見合い、島の子どもの成長の変化が分かります。コロナ禍の影響で全員合唱はできませんでしたが、音楽行事も復活しつつあり嬉しい限りです。

#### 【小中高合同マラソン大会】

毎年十二月には高校を会場として小中高合同マラソン大会が開催されます。低学年は1km、中学年は2km、高学年は3km走ります。走り終わった後は中学生、高校生を応援します。

#### 【島一周ウォーク】

六年生が卒業前に保護者や教職員と一緒に島を歩いて一周する企画です。三宅島は一周約30km。朝から夕方までアップダウンの激しい道を歩くのは大変ですが様々な人と話しながら一日かけて歩くのは、卒業前にとっても良い思い出となります。



島一周ウォークの集合写真

特集  
三宅島をもっと知ろう！

### 三年ぶりのマリンスコーレ

三宅島自然ふれあい大使 三 咲 順 子



ステージでご挨拶

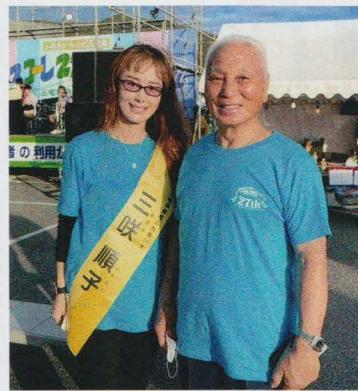
二〇一九年五月に、三宅村より大使に任命されました。その年の七月マリンスコーレで、村民の皆さまの前で大使としてご挨拶をし、都内や三宅島で様々なPRに務めてまいりました。その後コロナ禍により活動がストップする中、二〇二〇年秋に、櫻田村長より稲葉会長をご紹介頂き、その年の十一月七日、こがねい産業応援祭りにお伺いし、会員に入れて頂きました。それからは折にふれて、春や秋のおまつりでの物産展、友好音頭パンフレットの撮影や、宮地楽器ホールでの踊りのお披露目、写真パネル展など様々なシーンで皆さまと一緒に楽しく活動させて頂き、嬉しく感謝しております。

今年の九月末、三年ぶりに三宅島のビッグイベント「マリンスコーレ」が開催されました。本来なら七月末の開催ですが、やはりコロナの影響により延期されましたが、この秋、

これまで数々の催しが中止となり、三年間溜めていた村民の皆さまの想いが弾けるように、パワー全開のお祭りとなりました。出し物は子ども達のダンス、木遣太鼓（神着郷土芸能保存会）、マツケンサンバの歌や踊り、演奏など盛り沢山、模擬店も色々とお店されました。三宅島の夏は、大変暑いですが風があり気持ちいいです。来年は皆さまも是非ご参加下さいませ。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。



会場での木遣太鼓



櫻田村長と

親しい方への贈り物には  
郷土銘菓をご利用ください。

地方発送も承っております。

和洋菓子のお店  
**亀屋本店**

武蔵小金井駅南口南一番街店 ☎ 042-385-8181

商工会は  
行きます 聞きます 提案します

- 事業資金の推せん・斡せん
- 記帳や決算、税金のご相談
- 労働保険等労務相談

事業者と共に歩み、地域社会を豊かにする組織です

**小金井市商工会**

TEL : 042-381-8765 FAX : 042-382-8585

特集 三宅島をもっと知ろう！

### 魅力ある三宅島写真パネル展

小金井三宅島友好協会副会長 福平良全



ウオッチングなども盛んです。

またレンタカーやバイク、ト

レッキングコースなども充実し、  
宿泊施設を利用した島内巡りも楽  
しめることを写真パネルは示して  
います。

そうした活動や紹介、交流の一

端を支えて来たのが、本協会であ

り、さくらとあじさいの交換植栽  
から始まった長い歴史も年表とし  
て展示いたしました。

更に本協会の交流の写真を、神  
島前会長・故秋葉副会長の撮り溜  
めた写真アルバムを同時に展示し  
見ていただきました。

初日午後には、三宅村吉田副村  
長と自然ふれあい大使の三咲順子

三宅島は火山と共に生きる島で  
あり、同時に観光で生きる島です。  
最も新しい2000年の噴火か  
ら22年経った現在、力強く溶岩の  
間から再生して行く草木や森の素  
晴らしさ。一方で島民の努力によ  
る新しい農業への挑戦、例えばパ  
ッションフルーツやドラゴンフル  
ーツなどの栽培があり、更に豊かな  
海を生かしたダイビングやイルカ



展示会場風景



友好協会の歩み



三宅村副村長と（左から2人目）と自然ふれあい大使

さんがお見えになり、その後三宅  
村山本体育協会会長も姿を現して  
下さいました。

この写真展開催に際し、三宅島  
観光協会谷井事務局長には多大な  
ご協力を頂き、村役場からは数多  
くのパンフレットや観光案内冊子  
を提供していただきました。

お陰様で多くの方々のご来場を  
頂き、三宅島の魅力と本会の活動  
についてのご理解も一層深まった  
のではないかと考えております。

あなたの街の便利屋さん

お気軽にお問合せください

TEL 042-538-2585

MAIL info@team-bright.com

**Bright 有限会社ブライト**

total clean service [営業時間：9時～18時]

〒190-0031 東京都立川市砂川町 6-43-22

**つくば観光交通株式会社**

・年中無休 ・24時間営業

サンキュー無線

一般タクシー TEL 042-388-0039

のご用命は (寝台)

車いすタクシー TEL 042-360-8989

のご用命は

ライフサポートサービス TEL 042-381-5004

始めました

# 「小金井三宅島友好音頭」舞台披露に寄せて

細井久恵

令和4年6月5日(日)、太鼓の音と共に、小金井宮地楽器大ホールの舞台の緞帳が上がり、「小金井三宅島友好音頭」の披露が始まりました。

子さんも参加下さいまして、本番当日は緊張感が漂う中、友好協会会員をまとめ、直前まで練習を共にして下さったことが大変心強く感じられました。

第十回市民文化祭、芸和楽日本舞踊公演における「特別番組」として、芸和楽・座日本舞踊会員の皆様と一緒に円形になって踊った晴れの舞台。この日を迎えるまでに、振付をして下さった五條珠翠先生<sup>たまみどり</sup>の熱心な御指導のもと、練習を重ねた日々が愛おしく感じられます。

舞台は、一回目を踊った後、稲葉会長のご挨拶があり、その後、先生による振付の説明へと進んで行きました。踊りのそれぞれの動きの中で、三宅島の広い空・太陽・青い海・波といった自然の美しさを表現して下さい、素晴らしい説明に会場の皆様との距離も縮まりました。そして、二回目は皆様もご一緒にと、舞台と客席が一体となって楽しく踊り、大成功を収めました。

最初の練習日は思うように手足が動きませんが、皆で心をひとつにして練習を重ね、やがて三宅島の広い空・青い海に思いを馳せ、音楽に合わせて、目線や細かい動きにも気を配れるようになったことに喜びを感じました。そして5月22日、日本舞踊会員の皆様との合同でのリハーサルを経て迎えた本番。練習の段階から三宅島自然ふれあい大使の三咲順

会場の受付では、CDや振付の用紙を手にとって下さった方も多数いらしたとのことで、この先も多くの方に親しんで頂きますように。そして、いつの日かコロナが収束し、マスクなしで微笑みを交わしながら踊り、友好の絆が更に深まることを願っております。

最後になりましたが、先生を始め、お世話になった方々に心から感謝申し上げます。



小金井三宅島友好音頭の披露

# 第73回農業祭

荒木比佐子

農業祭が11月12日(土)13日(日)の二日間武蔵小金井駅南口のフェスティバルコートを中心に開催されました。生産者が育てた自慢の野菜の品評会や野菜で造った大きな「宝船」が祭りを盛り上げます。私たち三宅島友好協会も三宅島物産の明日葉、赤目芋、牛乳煎餅、レモン等ほかの物産もテーブルいっぱいにならべ、三宅島自然ふれあい大使三咲順子さんも参加され友好音頭のCDも流れるなか、だんだん人も多くなり販売物産も売切れができました。

二日目は品評会出展野菜の販売や「宝船」の無料配布があり多くの人出で三宅島物産も完売。暖かな天気にも恵まれコロナ感染に気をつけながらの参加でした。



三宅島初夏の旅

### 夏 三宅島の巨樹・巨木に 会って

中島靖兵衛



今回の三宅島への旅は私にとっ  
て、楽しいものとなりました。

過去百年間で四回、約二十年周  
期で噴火する躍動の島への旅。

小金井三宅島友好協会のお計らい  
で旅程、宿、食事は満足の行くも  
のでした。

中でも民宿「新鼻荘」朝食前  
の大路池自由散策が強い記憶に  
残りました。この池はおよそ  
二千五百年前の火口湖と言われ、  
伊豆諸島最大級の淡水湖。この湖  
の周辺は巨樹密集地域であり歩  
程の中間点で「迷子椎」樹齢約



迷子椎の雄姿

六百年スダジイ（ブナ科）を観た  
ときは強い感動を覚えました。別  
名「やどり木」。神宿る木であり  
三宅島のご神木なのです。島の南、  
この坪田地区には「御焼の黄泉の  
椎」樹齢約千年、スダジイ全国一  
位の巨樹があり、その他十数本の  
巨樹が有るのです。遠い昔から自  
然と人との営みを静かに観てきた  
巨樹たち。そしてその巨樹たちの  
姿、形は同じものは一つとして無  
く、強い「個性」を持っているの  
です。私はその巨樹の前に立つと  
自然に力が湧いて来るのです。今  
回の旅を契機に近いうちに三宅島  
の巨樹に会いに行きたいと思っ  
ています。その時は今回の旅で逢え  
なかった夕陽と星空を巨樹たちが  
添えてくれることを祈りつつ。



初夏の旅集合写真

三宅島初夏の旅

### 夏 三宅島旅行に参加して

谷口 優子



コロナ禍の自粛で久しぶりの企  
画と伺いました。

そんな貴重なイベントを偶然市  
報で見つけ、迷わず応募しました。

三宅島は、息子が小学生だった  
頃、キッズツアーに参加した事が  
あり、「楽しかった！美味しかつ  
た！」と普段言葉少なな息子にし  
てはめずらしく、何度も話してく  
れたのを覚えています。子供たち  
も成長し、次は家族で行こうと話  
しつつも、なかなか実現せず、そ  
れなら私一人だと、思い立ったの  
がきっかけです。集合の後、竹芝  
棧橋からワクワクと船に乗り込む  
と、大部屋で雑魚寝。それだけで  
もう気分は大冒険でした。

翌朝、雨降りとなる前に誘い合  
わせてのお散歩がとても楽しかつ  
たです。大路池の眺めは格別で空  
気も美味しく、ガクアジサイがと  
ても見事でした。

初日はあいにくの雨降りでした  
が、観光はとても楽しく、三宅の  
海の幸三味の食事とても美味し

くいただきました。ふと、このコ  
ロナ禍で人とおしゃべりしていな  
かったなと気づきました。ずっと  
人と話す機会がなかったので、人  
に会うのが億劫になってしまっ  
ていたようです。思い切って参加す  
ることで、皆様と楽しいお話がで  
きて良かったと思えました。

楽しいひとときをありがとうございました。



大路池



ガクアジサイ

夏 三宅島初夏の旅  
小金井三宅島  
友好音頭のご縁で

花柳孝一之輔



今回、私は6月の市民文化祭芸術文化フェスティバルにて「小金井三宅島友好音頭」を友好協会の皆様、所属する芸和楽会員と共に踊らせて頂いたことがご縁での参加となった。

第三小学校時代に三宅島との友好都市盟約締結による学校行事があったような：うつつすらとした記憶、あれから四十数年、今回が初訪問となる。

三宅島までは船旅。役員の皆様ホスピタリティ溢れるアテンドで、初顔合わせの参加者の皆様とも楽しいひと時を過ごし、あつという間に早朝の三宅島に到着。



中央に五條珠翠先生



練習風景



花柳孝一之輔さん

初日は雨の三宅島を体験、雨もまた良し！バスのドライバーさんの観光案内も楽しいもの。夕方には島の皆さんと参加者の方々との小金井三宅島友好音頭の振付稽古。若い皆さんの真剣な眼差し、今年の夏は三宅島の祭りで島の皆さんとは是非楽しんで頂きたい。二日目、大方の予想を覆し晴れ模様。噴火後20年の雄山や絶景スポットを堪能する。出港する際には紙テープ投げまで体験。見送りに来て下さった島の皆様の紙テープ準備というおもてなしには頭が下がるばかり。あつという間の二日間、三宅島の皆様と友好協会の皆様の数十年に及ぶ友好の厚みを感じる素晴らしい旅であった。皆さんも一度是非参加してみてほしい。

秋 三宅島晩秋の旅  
三宅島晩秋の旅

佐藤 海彦



三宅島から帰宅して2日後の11月22日。我が家の夕飯の食卓に、「アシタバ」の天ぷら、茹でた皮付きの「赤芽芋（里芋）」、焼きほぐした「クサヤ」が並びました。

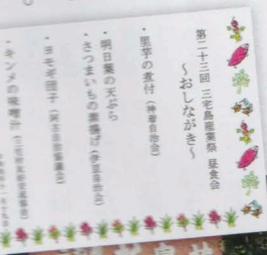
昨夜は「赤芽芋」が入った「筑前煮」と「豚汁」を夫婦二人で楽しみました。いただいたり、自分たちで掘ったりした「赤芽芋」は新鮮で、格段においしい。素朴ではありますが、何よりのご馳走です。

どれも、三宅島島民の皆さんのご厚意によるものです。妻とこの夕飯に舌つづみを打ちながら、2泊3日（船中泊1泊）の交流の旅をいろいろ思い出話し合いました。

旅行期間中に島内を一体、何回一周したのか。今回で定年となる、凡そ30年は村営バス勤務を続けてきたドライバーの須永さんがその時々窓の外を示して、「これも噴火の跡です」と説明。その度に思わず唖った。

「え、これも噴火の跡なのか」。何の変哲のない景色も三宅島では全て火山と関係している。島内いたるところに噴火の爪痕がある。島民の皆さんは代々、この島に住んだ時から火山と対峙してきた。しかも最近では約20年に1回は噴火に見舞われる、とか。ある島民の方は「前の噴火が西暦2000年なので、そろそろあってもおかしくはない」という。

島民の皆さんはわれわれ旅行者を意識してか、次の噴火についての不安をあまり強調されない。しかし、「火山との共生」を今後さらに続けていかざるを得ない。友好都市の市民の出来ることはというと、そっと寄り添い、見守り続ける。



晩秋の旅集合写真

三宅島晩秋の旅

あした葉のころ

小牧 静江



自然災害と人の生活。これは、地球上ではいつでもどこかの国で地震や土砂崩れなどが発生し、人は避難するほかをすすべがない。

東京消防庁では一九九三年（平成五年）に災害時支援ボランティアという消防署員の後方支援をする組織を発足し募集を始めた。専業主婦である私は呼びかけに応じ登録することとした。

それから七年後、三宅島で約二十年に一回の周期で起きる大規模な噴火が発生し、その後の有毒ガスの為に全島民が島外避難となった。私達ボランティアのころには横断幕のような細長い白い布が届けられ、ここに応援の一言を書くようにと指示された。私が書いた言葉は『きっと帰れる。必ずいつかは家に帰れる。頑張つて』であった。噴火を生で見た事のない私は良い言葉を選んだぐらいの気持ちであった。あれから約二十年が経ち家族で三宅島を訪れレンタカーで気ままに島を回り、ガイ

ドブックに添って見学地点に立ち寄った。一九八三年の噴火で阿古小学校やまわりの住宅が四百棟も溶岩にのみ込まれた写真を目にした。衝撃的であった。こんな恐ろしい状況の中を逃げたあと、生活を立て直して約二十年後またしても噴火に襲われ遂には全島避難となつて本土の東京都に仮の生活場所を作り、不安な日々を過ごす島民の皆さん。『いつか帰れる』、なんとのおんなげな言葉であろうか。胸が痛かった。

三宅島にあした葉という温かい島に自生する植物がある。若葉を摘んでも次の日には新しい芽が出て若葉になる。日向でも日陰でも強い生命力で育つ。

小金井三宅島友好協会主催の「晩秋の旅」に参加した二回目の三宅島訪問に島民の皆さんにあした葉の精神を感じる旅であった。



七島展望台にて

三宅島晩秋の旅

三宅島の明日葉

新村 恵子



竹芝桟橋から船で六時間三十分、初めての三宅島は、私にとつて新しい野菜達との出会いの旅となりました。島レモン・島ニンニク・赤目芋・明日葉。中でも一番は明日葉との出会いでした。

レシピ本によると、明日葉はセリ科の植物であり、今日摘んでも明日には新芽が出る事が名前の由来だそうです。船が到着したのは早朝五時で、辺りは真つ暗でした。二時間の仮眠の後は待ちに待った朝ごはんです。

美味しいと聞いていて、まだ食べた事の無かった明日葉が、おひたしで並んでいました。シャキッとした歯応えで、ウーン美味しい!! ハーブの様なさわやかな香りが口の中に広がりました。



岩場で採れる甲殻類のカメノテ(味噌汁に)

昼食では、色鮮やかに、サクッと揚げられた天ぷらとしていただきました。

宿の庭先でも、島の彼方比方でも見かけた明日葉。残念ながらこちらにはありません。

お土産の明日葉は、シーチキンとマヨネーズ和えなどで、あつという間に食べてしまいました。もつと食べたい、毎日食べたい。

「明日葉」。



明日葉



赤目芋掘り

## 定期総会

今年も新型コロナウイルスの感染拡大防止により第46期定期総会は集会による総会審議を取りやめ、書面による賛否確認とさせて頂きました。

「書面承諾書」の結果、会員総数185名中、第一号から第四号議案まで全て「書面議事承諾」賛成104名 否0名の結果となりました。

従って全議案については賛成多数で、原案通り承認されました。

### 令和3年度 事業報告

- 桜まつり「小金井公園」  
三宅島物産販売コロナにより中止 3月27日～28日
- 令和2年度会計監査 4月9日
- 第45期 定期総会 5月  
(紙面回答による)
- 初夏の旅 6月  
コロナにより中止
- なかよし市民まつり「小金井公園」  
三宅島物産販売等 10月  
コロナにより中止

#### ■こがねい産業応援祭り

三宅島物産販売実施

小金井駅南口ロータリー歩道上 11月7日～8日

#### ■晩秋の旅・産業祭

コロナにより中止

11月19日～21日

#### ■三宅島視察・写真パネル展打合せ

12月5日～8日

#### ■継続事業(第5回・終了)

島へ桜苗木100本贈呈 12月

#### ■新春のつどい

コロナにより中止 1月

#### ■「魅力ある三宅島」写真パネル展

「宮地楽器ホール」  
コロナにより延期 1月19日～25日

#### ■「さくらとあじさい」第51号発行

2月1日 1000部

#### ■桜まつり

コロナにより中止

3月26日～27日

#### ■定例理事会(毎月第二火曜日 18時)

編集委員会15回



三宅島のストレチアの花

### 令和4年度事業計画

実施年月日	事業名	実施場所
令和4年4月29日	令和3年度会計監査実施	
5月	(第46期) 令和4年度定期総会(紙面回答による)	
6月17～19日	市民「三宅島初夏の旅」開催	三宅島
9月22～25日	「魅力ある三宅島」写真パネル展開催	宮地楽器ホール
10月	「なかよし市民まつり」(第50回)参加 三宅島物産販売中止	小金井公園
11月	「小金井市農業祭り」参加 三宅島物産販売 市民「三宅島晩秋の旅」(三宅村産業祭出席)開催	小金井駅南口ロータリー歩道上 三宅島
令和5年1月	「新春のつどい」	
2月1日	会報「さくらとあじさい」第52号発行	
3月	「小金井桜まつり」参加 三宅島物産販売	小金井公園
その他 * 定例役員会 * 東小金井駅北口1号公園へ三宅島特産のがくあじさい植栽の推進 * 武蔵小金井駅南口再開発広場での新イベントの対応 * 小金井市と三宅村の一層の友好を深めるために交流活動の推進 * 小金井市と三宅村の一層の友好を深めるために、「小金井三宅島友好音頭」の歌、踊りの紹介と推進 * 「魅力ある三宅島」写真パネル展の開催 * 会員増強		

家周りの設営一式【ご提案から工事まで】  
植栽造園・エクステリア・タイル・レンガ等

**株式会社 秋葉タイル工業所**

〒184-0003 東京都小金井市緑町1-2-37  
TEL 042-381-9016 FAX 042-384-9956

住居まわりの環境をお手伝い!

お任せください。

さわやかな風をあなたに  
空気調和・給排水衛生設備

**ムサシノアロー株式会社**

代表取締役  
福平 恵一

本社 〒184-0003  
東京都小金井市緑町5丁目21-23  
TEL 042-382-0111 FAX 042-384-2155

### 令和3年度決算報告書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

歳入の部

単位：円

歳出の部

単位：円

項目	予算額	決算額	備考
繰越金	8,524	8,524	
年会費	180,000	169,000	
助成金	900,000	900,000	
事業収入	2,400,000	589,550	産業応援まつり・桜まつり 他
寄付金	110,000	180,650	さくらとあじさい広告料・東京小金井ロータリークラブからの寄付金 他
雑収入	1,476	4	銀行利息 他
計	3,600,000	1,847,728	

項目	予算額	決算額	備考
会議費	150,000	86,549	役員会・理事・編集会 他
事務費	250,000	275,355	通信費・資料印刷代 他
友好親善費	2,880,000	1,081,594	産業応援まつり・桜まつり 他
会報発行費	250,000	308,330	さくらとあじさい51号
渉外費	30,000	36,500	
雑費	10,000	0	
予備費	30,000	0	
計	3,600,000	1,788,328	
次年度繰越金		59,400	

#### 特別会計

寄付金¥648,062 + 利息¥6 = 残高¥648,068

令和4年3月31日

上記の通り決算報告を致します。

会長 稲葉孝彦 ㊞  
 会計 八木澤弘子 ㊞  
 会計 星野伸之 ㊞

令和4年4月29日

上記の通り監査結果が適正であることを認めます。

監査 大久保 佐一郎 ㊞  
 監査 山口 暁彦 ㊞

### 令和4年度予算

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

歳入の部

単位：円

歳出の部

単位：円

項目	予算	備考
繰越金	59,400	
年会費	170,000	
助成金	900,000	
事業収入	2,350,000	市民まつり・産業応援まつり・桜まつり 他
寄付金	120,000	さくらとあじさい広告料 他
雑収入	600	銀行利子 他
計	3,600,000	

項目	予算	備考
会議費	150,000	役員会・理事会・編集会議 他
事務費	280,000	通信費・資料印刷代 他
友好親善費	2,870,000	交流費・市民まつり・パネル展 他
会報発行費	250,000	さくらとあじさい52号
渉外費	30,000	
雑費	10,000	
予備費	10,000	
計	3,600,000	

#### 特別会計

単位：円

項目	予算	備考
寄付金	648,068	関綾二郎氏遺族からの寄付金残額

小金井市内の賑わいづくりと町おこしの交流拠点  
**一般社団法人 小金井市観光まちおこし協会**  
 KOGANEI CITY KANKO MACHIOKOSHI ASSOCIATION

「イベント情報」や「おすすめの観光スポット」など  
 小金井市内の魅力ホームページよりご覧いただけます。  
 まち歩きや桜の開花情報など、旬の話題も盛りだくさん。  
 観光の前にぜひチェックしてみてください。

小金井市イメージキャラクター こさんちゃんグッズ 販売店です。

<http://koganei-kanko.jp/>  
 TEL : 042-316-3980

小金井市観光まちおこし協会 検索

